

263号

5月例会のお知らせ

日時 : 5月22日(日) 10:00~ (5分前にご集合を)
 場所 : おさごえ民家園 (福井市月見5丁目4番48号)
 内容 : 古民家見学勉強会

講師 福井宇洋先生

おさごえ民家園への古民家移築・再生の監督
 責任者として長年活動を続けて来られた福井
 先生に説明していただける貴重な機会です。

- *申し込みは18日までに三木まで(09062705547)お願いします。
- *弁当・お茶は各自ご持参下さい。アルコールだけは用意します。
- *見学後、加藤博一さん(09023722166)のご実家(福井市田尻栃谷町)で満開のサツキを鑑賞しながら、弁当を食べましょう。

■今年5月7日が旧暦の卯月一日になり、この日から夏です。初夏の風が心地よく、眩しい程の新緑が心に沁みるこの季節におさごえ民家園を訪ねることにしました。大阪豊中市に日本最初の野外博物館「日本民家集落博物館」が開園したのは1956年で、ここには17C~19Cの日本全国の民家11棟が集められています。

また1967年には神奈川県川崎市に「川崎市立日本民家園」が開園し、東日本一帯で伝承されてきた民家、水車小屋、船頭小屋、歌舞伎舞台など25の建物が野外展示されています。

福井先生は福井市の「おさごえ民家園」開園について次に様に述べておられます。

「福井市では当初考古民俗博物館を建設する予定があり、その附属施設として数棟の古民家を収集して保存公開しようと、市街地に隣接した足羽山、八幡山、兎越山から成るカルチャーパークの一角を敷地として選んだ。対象とする古民家は福井県下全域の、地域的、年代的特色のある優れたもので、所有者の事情によって近く消失する可能性があり、しかも緊急を要するものが選ばれた。

結果としてすべての民家が比較的上層の「つのや」となったのは偶然である。県内の古民家を多面的に展示するには、規模や階層を幅広く網

羅する事が望ましいのは言うまでもないが、提供の申し出を1棟ごとに審査する方法では選定にこうした偏向が生ずるのは止むを得なかった。工事の進行に応じて、1986年6月から一時的に仮公開しながら、1989年4月正式に開園した。なお、「おさごえ」の名は兎越山、あるいはこれと八幡山との間を通る峠道の古称である「尾左越」や「椽越」などに因んで命名された。」(『民俗建築』第102号 1992)

- 旧城地家住宅:大野市蕨生 嘉永5年(1852年)
 - 旧岡本家:上中町有田 18C中頃か前期
 - 旧蓑輪家:今立町八石 18C前半
 - 旧土屋家:金津町前谷 安政3年(1856年)
 - 旧梅田家:福井浄教寺町 弘化(1844~48)
 - 旧山下家板倉:勝山北谷小原 慶応(1865~68)
- などを解説付きで見学します。

お昼ご飯を食べる加藤さんのご実家は現在ツツジが満開で、その頃にはサツキが美しい姿を見せてくれているそうです。ツツジは3月中旬から5月上旬に花が咲き、サツキはその後5月中旬から7月上旬ごろにその花を楽しめます。従って季語としてはツツジは晩春、サツキは仲夏として扱われます。またツツジは花が終わってから新芽が出ますし、サツキは新芽が出るころに蕾が付き、その後花が咲くようです。